

聖句  
 仁者心に高下有りて佛の慧に  
 依らざるが故に、此の土を見  
 て不浄たりと為すのみ  
 『維摩経』

# 真生

第80巻484号

<http://canchiin.net>

1・4・7・10月15日発行  
 【発行所】  
 真生同盟本部  
 〒105-0011  
 東京都港区芝公園  
 2-2-13 観智院  
 【振替】  
 00160-6-80674  
 【電話】  
 03(3431)1450  
 【Email】  
 shinsei@canchiin.net  
 【編集兼発行人】  
 土屋正道  
 会費 年額 2,000円  
 一部 100円

## 歩いて行く

— 中山道念仏行脚 —

土屋正道



釈迦如来 奈良 室生寺

「なんで、そんな長い距離を歩いてるんですか?」「趣味ですか?」「健康の為ですか?」「いえ、私には歩いて念仏を称えるのが性に合っているのです」  
 2019年1月、中山道念仏行脚に出発しました。この年、還暦を迎える私は、生まれ変わったつ

もりで再び念仏行脚をすることにしました。都会の雑踏や、野山を歩き念仏申すうちに、本当は、本日、今の一瞬に生まれ変わらせて頂いていることに改めて気づかれました。  
 30年程前、浄土宗東京教区青年会の仲間と、増上寺から知恩院まで、

東海道(国道1号線沿い)を12泊13日で行脚しました。(12月13日)12月25日、知恩院のお身拭い式に参列するための強行軍で、みんな足を痛めました)その時から「ナム・アミ・ダブ(呼吸、○(吸気))のリズムで早朝から夕刻まで念仏を称えながら歩くことが、私には無理なく念仏を称え続けられる方法だと感じられました。翌年春から、四国お遍路に参りました。無理なく自分のペースで歩くため単独で区切り打ち(札所の門前からいくつか先の札所門前まで、何回かに分けて回ります)を始めました。最初は阿波(徳島)一国を一週間ほどで巡り、その後は2泊3日とか、東京から夜行バスなどを使いながら、土佐(高知)、伊予(愛媛)、讃岐(香川)と巡礼。最初は2年程度で回るつもりが、結婚し子供を授かって時間が取れなくなつて、なんと足掛け8年かかりました。  
 お遍路には「なぜ巡礼しているのか?」と聞かない不文律があり



長野・奈良井宿 えちご屋泊



長野・妻籠宿から岐阜・馬籠宿へ

導師拜命の時、法然上人の歩かれた道を回ったりしましたが、久しぶりの行脚です。日帰りを中心に1、2泊を交えて少しずつ区切りながら進んでいきました。いでたちは、30年来使用している柿洪を塗り防水仕様の網代笠（正面に南無阿弥陀佛、裏には神人合一と墨書）、遍路用の浄衣、輪袈裟、数珠、20Lの軽いナップザック（雨具、水、非常食、ヘッドランプ、下着、保温着、予備バッテリー）、観智院

ます。人はそれぞれに悩みを抱えているのでしよう。私も最初は泣きながら念仏を称えて歩かざるをえない心境でした。やがて道に迷ったり、地元の方のご接待（弘法大師へのご供養に、遍路に対して飲食物、金銭、宿や交通手段の提供などをなさる）をお受けするうちに、大きなお慈悲に包まれ、慰められていくような心持ちになっていったようです。

の署名入り看板袋（カメラ、マスク、アーモンドチョココレート、手袋、ネックウォーマー、ビニール袋）ウエストポーチ（万歩計、筆記用具、おやつ、ティッシュ、消毒薬、絆創膏、針、紙テープ、ライター、ナイフ、財布）、時計（高度計、気圧計付き）、杖（伸縮ポール）、靴（トレイルランニング用）、スマートフォン（中山道地図アプリ）。針・ライター・絆創膏は足



で現在地が確認でき非常に便利でした。緊急事態が解除された今年4月、23日間、2年と3ヶ月かけてやっと成満いたしました。皆様のお支えに感謝申し上げます。  
南無阿弥陀佛

中山道念仏行脚 最後の行程の動画を右記のQRコードからYouTubeでご覧いただけます。



滋賀・番場宿 自然石のお地藏さま



岐阜・長久手宿 尾州家定本陣大黒屋泊

距離数528.5kmは、日本橋から三条大橋まで各宿場間の距離で、最寄りの駅までの距離は含まれていません。歩数850,893歩は歩き始めから帰りの駅までの歩数です。

2019年

1月9日	観智院→増上寺→日本橋	4km
1月22日	日本橋→板橋→蕨 8:25~15:22 30,697歩	18.8km
1月28日	蕨→浦和→大宮→上尾→桶川 8:25~15:38 33,298歩	22km
2月12日	桶川→鴻巣→熊谷 8:22~15:30 36,531歩	23.6km
2月27日	熊谷→深谷→本庄 8:50~16:20 37,074歩	21.4km
3月5日	本庄→新町→倉賀野→高崎 8:00~15:30 35,530歩	19.8km
3月12日	高崎→板鼻→安中→松井田 (横川まで) 8:00~16:20 42,458歩	20km
3月27日	(横川より)→坂本→軽井沢 (中軽井沢まで) 8:10~15:58 31,407歩	25.6km
5月15日	(中軽井沢より)→沓掛→追分→小田井→ 岩村田→塩名田→八幡→望月 8:31~17:00 39,452歩	30km
5月16日	望月→和田 8:08~16:00 32,909歩	18.3km
5月17日	和田→下諏訪 7:37~15:45 33,621歩	21.6km
猛暑、天候不順で中断		
2020年		
1月6日	下諏訪→塩尻→洗馬 10:13~16:11 28,172歩	18.6km
1月21日	洗馬→本山→贄川→奈良井 7:30~16:30 27,378歩	18.5km

1月22日	奈良井→蕨原→宮ノ越→福島→上松 7:30~16:30 44,082歩	29.3km
新型コロナウイルス感染症にて中断		
9月14日	上松→須原→野尻→三留野 (南木曾まで) 7:40~17:00 44,592歩	30.2km
10月13日	(南木曾より)→妻籠→馬籠→落合→中津川 8:45~16:57 32,324歩	21.8km
10月20日	中津川→大井→大久手→細久手 5:25~16:15 46,005歩	29.5km
10月21日	細久手→御嵩→伏見→太田 7:30~15:50 37,180歩	23.6km
10月27日	太田→鶴沼→加納 8:45~16:35 42,775歩	24.6km
10月28日	加納→河渡→美江寺→赤坂→垂井 7:10~15:24 39,567歩	24.6km
11月10日	垂井→関ヶ原→今須→柏原→醒井 9:00~16:00 29,449歩	19.2km
11月11日	醒井→番場→鳥居本→高宮→愛知川 7:15~15:05 35,371歩	21.7km
12月8日	愛知川→武佐 9:30~16:45 35,431歩	9.8km (野洲まで)
12月9日	(野洲より)→守山→草津→大津 8:00~16:05 35,921歩	34.0km
新型コロナウイルス感染症緊急事態にて中断		
4月3日	大津→京都 10:15~13:50 19,669歩	11.8km
(三条大橋到着後、百万遍知恩寺、金戒光明寺、知恩院御廟参拝)		



群馬より長野  
碓氷峠 徳住上人名号石



埼玉・鴻巣宿 檀林勝願寺山門



東京・本郷弥生町左折、17号へ



京都・三条大橋到着 コロナ禍で マスクの人々

## 『宗教の本質』

(五) (昭和十年九月発行)

土屋 観道 上人 (眞生同盟初代主幹)

(承前)

三、釈迦、孔子、キリストへの憧憬  
私は青年の頃から釈迦、孔子、キリストによって啓発せらるゝ所が非常に多かったのであります。

## (1) 孔子の宗教

孔子は「吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑はず、五十にして天命を知り、六十にして耳順ひ、七十にして心の欲する所に従つて矩を踰えず」と云い、又「天の命之を性と謂ひ、性に従ふ之を道と謂ふ」とか、「丘の折りや久し矣」と云つて、居られるのであります。

「終日食はず、終夜寝ねもせず、思へども益なし、学ぶに如かざるなり」と之は日御飯を食べ、夜もに寝ないで考えたけれども、何うしても判らない、学ぶに如かずと云つて居られる。孔子を雖も、子

供の時には判らなかつたと見える。下手の考え休むに似たりで経験がないものは仕方がない。

将棋をさしても、基をうつても、下手なものには良い手が出ない。只ウン／＼唸っているだけである。商売で下手なものになると、どうして

いいか判らなくなる。その行き詰つた時には幾ら考えてもいゝ、智慧は出て来ない、窮すれば通ず云う諺もあるが、考えるだけの材料が無いから、同じ所をグルグル廻っている。それが宗教なき人の生活であります。終夜寝ねず、終日食まずに考へたと云うことは孔子の言として一層に尊く思われるが、果して吾々は、終日食わず、終夜寝ないで、人生を考えたことが有るのでしょうか。実に愧かしい次第であります。併し、「学ぶに如かざるなり」で、孔子は大に学ぶことの尊さを教え

ている。之また大いに味うべきこととであります。然しそれだからと云つて、考えることは詰らないと解されてはいけません。無論考える事は大切であります。けれども此処ではた経験浅きもの、考えだけではいかぬ。大に人に就いて学ぶと云うことが大切であると云うことを云つたのであります。

孔子は「十有五にして学に志し、三十にして立つ」と云うのだから、一生懸命勉強して、三十にして、初めて立てたと見える。或る人が三十にして立つと云うことを聞いて、「俺も三十で立つ」と、三十になるのを待っていたが、遂に三十になつても立てなかつたと云うこととあります。「学に志す」と云うことを忘れて、たゞ立つこととだけを做ねたものと見えます。

或る人が「大学へ通つての間が一番いゝ」云つた。成る程、角帽を被つて、何処へ行つても丁寧に扱われてよいけれども、「大学を出てしまふ」と、余り人が尊敬し

て呉れなくなる。マサカ大学を卒えた後までも、大学帽を冠つて歩く訳にも行くまい。だから成る可く落第して、何時までも大学生で張つて居度たいと云う者もある。

近頃では大学位出ても、余り尊敬されなくなつた。こんな積りではなかつたと思ふが、尊敬して呉れなければ仕方がない。三十にして立つと云うから、俺も三十になつたら、立てるか知らんと思ふたが、三十になつて嫁さえも貰えないというこの頃、之では、却々に腰も立たない。それ所か未だ就職の口もないと云う人さえある。たまかく職があつても、いつ首になるかさえ不安である。

「四十にして惑はず」と云うが之また今日の人々には困難であります。少しも惑はないと云うことは却々に出来ない。併し孔子は、そう云う職業問題に就いて云うたのでは無かつた。之は全く孔子が人生の行路を云われた言葉であります。所で、孔子は更に「五十に

して天命を知る」と言っている。三十にして立つと云うのは、独立し得た姿である。四十にして惑はずと云うのは、非常な自信を得たと云う言い方である。之を行けば大丈夫と云う信念の確立であろう。三十にして立ち、四十にして惑わなかった孔子は偉い。

然し孔子はそれでも「五十にして天命を知る」と云っている。孔子の天命とは何であろうか。そこに孔子の宗教がある。即ちこの時に孔子も宗教に入ったと云ってよい。今日

### 称名の工夫 — 修行としての念仏 — (二)

(『浄土宗学研究 昭和五十三年度第十一号』より)  
土屋 光道 上人(眞生同盟二代主幹)

(承前)

#### 三、念仏の理論と実践

昔から今日まで、念仏については幾多の研究がなされて来たが、理論的研究と実践的研究があり、更にその理論的研究を大きく二つに分けることが出来よう。その第一は念仏の教理的研究であり、

の漢学者は六ヶ敷い文学は却々よく知っている。併しどれ程知っておるか思つて、三十五銭の字引を開いて或る字を聞いて見たところ、答えるものは少なかつた。それでは三十五銭の字引にも劣るではないか。矢張り孔子のように、天の道を知り、天に祈る事が出来てこそ、所謂儒教が成り立つのではないか

思う。今日の漢学者は孔子の道を説きながら、本当に孔子の道を行わぬ。之は自ら天に祈ることを知らないからである。(続)

第二は心理的研究である。前者は、念仏の背景となつている浄土思想

あるいは本願思想を教理乃至教理史的視点から究明し、念仏自身が担っている教理学的意味を解明しようという、念仏の側に焦点をあてた立場であり、後者は、念仏の口称の実修が、その当事者の心理

にいかなる影響を与え、その人格の信念体系をいかに形成し、その実生活にいかなる効果をもたらすかという、人間の側に重点をおいた宗教心理学的立場からの研究であります。

次に実践的研究とし、念仏も一つの宗教儀礼であり、今日の浄土宗にも「宗定法要」なるものが定められ、念仏を組込んだ日常勤行式をはじめ、各種の差定が組織編成されている。そして今日も専門の式師の方々を中心に、各種の法式の研究と実修が熱心に行われている。しかしそこでは、伝統的な形式の枠にはまった定型化した声

明念仏は行われるが、新しい唱え方の工夫や実修の試みは甚だ少ないと言わざるを得ない。

今後の課題として、理論的研究としては、教理より人間の側に重心を置いた宗教心理学研究が、実践的研究としては、従来の法式にのみ偏らず、心理的研究をふまえた、より効果のある新しい念仏

の唱え方の工夫研究が、是非とも推進されることが願わしい。

#### 四、修行の研究

古来、人々が口称念仏に期待して来た効果効能は様々である。一つは、言語そのものに超自然的な力があり、その発声によってその力が発動するという呪術的効果である。第二は、非人格的な言語そのものの力というのでなく、ある超自然的な人格、すなわち絶対者への帰依や人格的応答の方法、いわゆる祈祷の手段としての念仏の効能である。第三は、それを不断に行ずることによって、意図的に

(或る場合は無意識に) 自己の宗教信仰を強化し深化するために行う、いわゆる修行としての念仏の効果であります。これらは、場合によって、互に複合していることが多い。

さて、ここでは、第三の修行としての念仏から、日課、数量念仏を検討してみよう。その方法として、念仏に限らず、

修行一般についての宗教学の諸成果を参照してみたい。

修行の定義としては、宗教に限らず一般的に、

「行いを通して心を練る営み」(7)と言われるが、特に宗教的には、

「精神を錬え、宗教的理想を宗教体験の上に実現するためにいとなまれる行動体系」(8)

とされる。

その行を通して、その人格の内  
に特殊の宗教的態度、信仰体制と  
いうべきものが形成され、そうし  
た人格を宗教的人格と呼ぶ。

また、その目的を更に細分して、

1、一定の心的境地への到達

2、心身の鍛錬

3、信仰、信念の強化

4、懺悔滅罪

5、感謝

6、請願成就の犠牲

7、特殊能力の獲得

などがあげられる(9)。これらも相互に複合している場合が多いが、念仏にあてはめてみても一応妥当

すると言えよう。

仏教には念仏に限らず、幾多の

修行形態が形成され伝承されて来た。人間の行為を身・口・意三

業に分ければ、礼拝、合掌、坐禅、登山、回峰、巡礼、水行、舞

踊、写経、断食、太鼓や木魚や鈴などの振揺などは身業を中心にし

た行法であり、唱名、唱題、呪文、誦経、教息、調息、無言などは口

業。憶念、想念、観察、祈祷、禅定、公案などは意業にかかわる行

法である。又個人的と集団的型題とを分けることも出来よう。

さて、こうした修行が十分な効

果をあげる条件として、

1、高い理想

2、よき指導者

3、よき環境

4、反復的行動様式

の四つが整うことが理想とされる(10)。

そして、こうした修行を通して

心が練えられるという基本原理は、おそらく昔から、人間の身・口・

意三業には密接な相互連因性がある

ことを経験的に把握したところから生れたに違いない。例えば、

1、姿勢と心

2、呼吸と心

3、声と心

の夫々に、内外相応の相関性が自覚された。

姿勢をシャンとすれば、自ずか

ら心がシャンとする。逆に、心がシャンとすれば、姿勢もシャンと

なる。姿勢を崩し緊張を解いて、心だけをシャンとしようとしても、それは不可能である。そこで、外

の姿勢を不断に正しくする行為を意識的に繰り返し返すと、いつの間にか内なる精神が錬えられ正しくなる道理がある。

呼吸もまた精神と密接な相互関連がある。病氣、悲歎、不安、怒り、驚き、いらいらという心理状況に

ある時は、呼吸は常に浅くて短い。それに反して健康、愉快、平安、

落着、笑いという気分の時、人間はいつも深く長い呼吸をしている。そこで反対に、意識的に呼吸

を深く長くするように心掛け、反復訓練することによって、逆に精神が調御され、理想的心的体制が次第に内面に形成されるようになる。音声もまた然り、悲しい歌をうたい、悲しい調べを聞けば悲しい心になり、逆に心の嬉しい時には自ずと明るい声が出、悲しい時は暗い声になる。そこで、真剣に

明るい声で繰返し経を読み、一心に口唱念仏を反復することによって、今までなかった特殊な明るい集中した心境を現させようという修行の原理があるのである。(続)

(註)

(7)岸本英夫『宗教神秘主義』

昭和三三大明堂 六三頁

(8)同「行の心理」

『信仰と修の心理』昭五〇 溪声社 門脇佳吉編『修行之人 問

形成』昭五三 創元社

(9)同 九一―一四頁

(10)同『宗教学』大明堂

昭三六 七一頁

# 今、極楽

## 〔『生活線上の宗教より』〕

中野 尅子 (善英) 上人

羊羹の頭と尾がわかりますか。

羊羹には、頭も尻もない。それはその筈です。一方が頭なら一方はお尻、一方がお尻なら一方が頭であるからです。総てはこの羊羹の頭と尻とのように相反しているようなものの一つであり、一つであるものを異っているように見ているのです。羊羹を三つに切っても、三本ながら羊羹であり、三本が合わさって一本になる。一本を千切れに切っても皆羊羹の味がする月とスッポンでも一つ天地の大生命で出来ているものであり、猫も杓子も、本当は血を分けた兄弟であり、親子であり羊羹の頭と尻尾であります。そんな事をいうと無茶のように聞こえるが、例えば藤の花でも、葉でも蔓でも、藤の木の一部です。一部分というこ

とは根や幹の一部分であり、根や幹の変形であります。土の中には幹の処は根、地上へ出たところは幹や枝、それが伸びては蔓となり、葉となり、花となり、実となる全体が合して「藤ノ木」であり、一本の羊羹のようなものです。

お鍋の中へ入れて煮られている馬鈴薯と、コレを煮ている釜戸と薪と、四者は各々別々の物で、別々の働きをしているが、そのまま一つの仕事に向って統一し、一つの根本より生じて四種に作用しているに過ぎぬから、よくよく見ると各別のままで一味、一道、一体、一種であります。天地間総ての森羅万象三千の諸法は、非常に複雑のようだが一意志、一作用であります。

例えば、自分のカラダでも頭、足、

胴など、幾つかあるがドコからか足で、ドコからか手で、ドコからか胴と区別し得るでしょうか、同じ皮膚で連なり、同じ血管、同じ骨格で続き、同じ栄養が一方から一方へ流れ、同じ神経が頭の天辺から足の爪先まで通っている。目の働き、耳の働き、鼻や口の働きと異っているようだが、皆「中野」の働きであり、それらが皆、集って「中野」を形成し、組立てているのです。その一部分を欠いたら中野は成立たぬ。髪の毛一本欠いても「中野」ではありません。胃腸によって栄養が吸収され、その栄養が血管によって全身に配給される。その血液は肺で浄化され心臓によって送られる。その肺や心臓の働きはまた胃腸の活動によって栄養を供給されているからであります。こんなに皆が一貫して、一団となって相扶け相補い合っている。結局一なるものの細分であり、一体の両端、いや両端というものも無い一体であります。

仏だ、凡夫だなんて二つの別物があるではありません。地獄だ極楽だなんて別の処があるのでありません。この自分がココで直ちに仏の心で、仏の働きをやっているのです。他人の頭を叩く拳骨で、人の肩を親切に叩いてやれるように、全体調和、全体和合の為に自覚して働いたら今、仏です。ココが極楽です。阿弥陀様が極楽を造って置いて下さったのでなく、大信心になつてやりかけたら、此の一步から極楽になるのです。「み旨よ我れに現われよ、み国よここに來たれかし」です。

一人でやるから強い  
大勢でやると弱い  
大勢でやっているても、  
やっている中心は  
常に一人である。

中野善英



# 行事報告

## 第四回世界同時念仏会開催

Chanting Namu-Amida-Butsu  
Internationally (C.N.I.)

二〇二一年

フランス/ドイツ

七月十七日午後十六時

日本時間

七月十七日午後二十三時

主催

浄土宗ヨーロッパ仏教センター

高僧光隆上人 (フランス)

フランク 光然 ビュトゲン師

(ドイツ)

後援…二十四時間不断念仏会

(事務局/観智院)

二〇二〇年十一月に第一回世界同時念仏会を開催し、五月と九月には二十四時間不断念仏会を挟みながら、隔月で世界各地から中継を頂き、今回で四回目となります。

世界各地から参加者を募りZO



高僧光隆上人 (ヨーロッパ 仏教センター)

OMにアクセスして念仏と一緒に  
お称えいたします。

四回目の開催となる今回はヨーロッパ仏教センターが主体となり、ご住職の高僧光隆上人と御弟子のフランク光然ビュトゲン師が中心となり参加者の皆様を導いてくださいました。

当日の念仏会では始めに高僧光隆上人によるヨーロッパ仏教センターが創設された由来やヨーロッパで仏教の布教活動などを参加者



フランク 光然 ヒュトゲン師

のためにお話いただき、その後に念仏を一時間ほど一緒にお称えいたしました。

今後様々な国や地域で開催することで念仏によって繋がれる世界を目指して参りたいと思います。

次回第五回は、昨年十一月の第一回の開催時に主催者なつてくださった浄土宗ハワイ開教区が再び中心となつての開催です。

第4回世界同時念仏会の模様は左記のQRコードからYouTube

をご覧くださいませ。



### 次回の予定

ハワイ時間

十一月十三日(土)午前十一時

日本時間

十一月十四日(日)午前六時

ZOOM

ミーティングID: 890 9599 4965

パスコード: 888946

世界同時念仏会の年間中継予定

一月 インド・ネパール

仏心寺ブツダガヤ・カトマンズ

三月 ブラジル

クリチバ日伯寺

七月 フランス

ヨーロッパ仏教センター

十一月 ハワイ

浄土宗ハワイ開教区

<http://canchin.net/>





土屋正道主幹の法話



会を主幹・徒弟で担い、初日の法話を長野・専念寺の福田哲也上人にお願いし、三日目は先代住職・前主幹の光道上人のテレビ法話、「宗教の時間」「さわやか講話」を放映いたしました。  
三日間修養会の模様は左記のQRコードからYouTubeでご覧いただけます。



諸澤正俊上人の法話



法話 福田哲也上人



テレビ 法話「宗教の時間」土屋光道上人



座談会

### 秋彼岸会法要

二〇二一年九月十九日(土)

観智院本堂よりライブ配信

◇別時念仏 午前十時

法話 土屋正道(観智院住職)

〜善行が叶わぬ私が 救われる道は?〜

◇彼岸法要 午前十一時

新型コロナウイルスの感染者が増加したことで四度目の緊急事態宣言が発令されたことを受け、感染拡大防止を考慮し、今年の秋彼岸会は完全リモート開催となりました。

当日は住職のみで別時念仏、法話、彼岸法要を執り行い塔婆回向、その模様をライブ配信し、檀信徒の皆様にはオンラインでの参列をお願いいたしました。





秋彼岸会 法話



秋彼岸会 法要



秋彼岸会 塔婆回向

### 眞生芳志感謝

眞生芳志を賜り誠にありがとうございます。至心に感謝申し上げます。今後もお支えのほどよろしくお願いいたします。

(483号以降9月16日まで)

◆金二万円

埼玉 島田克裕・三重 伊藤信夫  
神奈川 高橋好・隆雄

京都 吉水隆子

◆金一万五千元

ハワイ 原源照・兵庫 山岡和知

◆金一万元

東京 福田行慈・神奈川 竹石光流  
兵庫 明石和成・静岡 桑子文雄

東京 内田智康・富山 長谷川善政

岡山 漆間勇哲・佐賀 立川光俊

埼玉 畑中芳隆・滋賀 広瀬卓爾

青森 遠藤聡明・東京 盛克史

◆金五千元

千葉 岡村涌亮・大阪 戸井啓瑞  
長野 松崎研定・大阪 中村法道

◆金四千元

千葉 鈴木只单

◆金三千元

長崎 早田明生・東京 遠藤幸子  
東京 生田武・福岡 本原信道

岐阜 早川修二

◆金二千元

東京 山田静逸・東京 熊谷芝青  
静岡 山崎一典・愛知 高木宏昌

愛知 林望東・宮城 大江田博導

東京 佐藤義一・東京 木村演佳

東京 馬場友子・長野 青沼清子

長野 青沼宏之・長野 青沼まゆみ

神奈川 都丸慶子・埼玉 和氣昭祐

(敬称略)

### 松禅院念仏堂修繕事業 浄財勧募第三回報告

480号において、「松禅院念仏堂修繕事業浄財勧募のお願い」をいたしましたところ、多くの方々がご浄財を寄進してくださいました。心より感謝申し上げます。

(483号以降8月30日まで)

◆金二万円 京都 吉水隆子

◆金三千元 千葉 矢崎勝彦

(敬称略)

# 第59回 眞生同盟本部大会

一心に 南無阿弥陀仏と いう時は 我が阿弥陀か 阿弥陀が我が

徳本上人

大悲眞生阿弥陀仏が忙しいアナタのお越しをお待ちしています。如来様と一つになる実感を得るまで策励いたしましょう。

本年は新型コロナウイルスの影響に鑑み、参加時間を限定して開催いたします。詳細は下記の日程をご覧ください。 合掌

記

日 時：11月18日(木)13:00～20日(土)18:00

※一般参加は①19日 13:00～18:00②20日 13:00～18:00③21日 13:00～18:00

食事・宿泊の提供はありません。コロナの影響によって日程が変更あります。

場 所：観智院（東京都港区芝公園 2-2-13）

内 容：観智院：①念仏 ②法話 ③座談

YouTubeでも配信いたします。

導 師：土屋正道 眞生同盟主幹

QRコード



法 要：①開白法要 18日 13:00～

②結願法要 20日 17:00～（御回向お申込下さい）

会 費：日帰り 3,000円 ※不織布マスクを着用ください。

申 込：観智院・眞生同盟 港区芝公園 2-2-13 FAX 03-3431-7807

Email :[shinsei@canchiin.net](mailto:shinsei@canchiin.net)※ご参加の方は11月10日までにお知らせください。

フリガナ お名前		
連絡先	Tel :	Email :
住所		
回向願意		

下記の項目に参加時間をご記入ください。

	11月18日(木)	11月19日(金)	11月20日(土)
参加 時間	___時___分頃 }	___時___分頃 }	___時___分頃 }
	___時___分頃	___時___分頃	___時___分頃